

第4回教育委員会定例会議録

開催日時 令和8年8月25日（火）

出席者 （教育委員）

（事務局）

教育長職務代理者 渡辺 幸良

教育長

棚橋 剛

委員 大橋 香代子

教育課長

梅村 明広

委員 板屋 千都世

教育課課長補佐

中原真奈美

委員 赤尾 徳雅

1. 開会 午後3時50分に開会

2. 前会の議事録の承認

3. 教育長より

①文化・自然体験について

小学生、中学生ともに、事故や大きなけがもなく、全員が安全に全行程を終えることができた。児童生徒の様子・表情から事業の良さの一端を感じることができた。実施するまでは様々な課題があったが、やってみて良かったということが率直な感想である。

〈大橋委員〉

- ・事前説明会や出発式などで話を聞くときに、町長や教育長の話を頷いて聞いている姿勢から、子ども達の学ぶ意欲が感じられた。
- ・時間が経つにつれ、子ども達の仲が深まっていく様子がよく分かった。
- ・特に、波照間島、西表島では自然体験を満喫できた。まさに「文化・自然体験」であった。竹富町役場の表敬訪問では、子ども達は緊張しながらもきちんと受け答えができていた。
- ・子ども達はタブレットを持っていき、自分で写真を撮ったり、空いた時間に報告文書をまとめたりしていた。しかし、タブレットの扱いが雑に感じた。
- ・事前に子どもの（応募したときの）作文を読んでおきたかった。
現地の方の意見を入れながら、来年度に向けて改善していくと良い。

〈渡邊委員〉

- ・酪農体験では、牛の出産に立ち会うことができた。参加者みんなで紐を引っ張って、出産の介助をするなど、貴重な体験ができた。
- ・AIを使って、従業員4人で飼育している牧場の様子も見せていただいた。これからの農業や経営など、将来へのヒントになると感じた。
- ・肉眼で国後島が見られた。アイヌの文化、竪穴式住居、日本銀行旧小樽支店金融資料館などを見て、歴史を感じることができた。

②熊本の地震から

- ・熊本地震を対岸の火事とせず、日頃からの備え（リスクマネジメント）、発生時の対応（クライシスマネジメント）など、改めて考えておく必要がある。学校では実践的な訓練が求められている。

③夏季休業期間について

- ・ 8月25日時点では、児童生徒の事故や大きな生徒指導事案の報告はない。各地で行われていた夏祭りには、多くの小中学生の楽しそうな姿を見ることができた。特に、中学生のボランティアの姿もたくさん見られた。
- ・ 中体連や文化系、部活動クラブの活躍について

④西濃教育長会より

- ・ 特別支援学級・通級の学級数について

通常学級は減少傾向にあるが、特別支援学級は増えている。(令和2年度と比較すると75学級の増加) 西濃地区は、他地区と比べると通級指導を受ける児童生徒数の割合が高い。その一因は、判定に診断書を必要としないことも考える。

西濃地区では、大垣市以外は診断書を求めている。安八町でも今後検討すべき課題である。

4. 連絡報告事項

(梅村教育課長より)

- ① 体育館空調：施工に向けて準備中。10月より順に工事を始め、卒業式には間に合うように進めていく。
- ② 公民館トイレ改修工事：9月12日までに改修工事を行う。
- ③ 安八ふれあい祭り：11月7日(土)、8日(日)

(中原課長補佐より)

- ① 7月の生徒指導事案
- ② 7月の不登校の現状について
- ③ 7月教職員勤務状況について
- ④ 全国学力状況調査の結果について

- ・ 小学校は国語、算数ともに県平均をやや上回り、全国よりやや下回るという結果だった。中学校では全国、県より高い結果となっている。小学校・中学校とも記述式の回答が良い結果であった。学校によって階層の傾向や結果が異なるため、各校で結果分析を実施し、具体策を明確にして授業改善を図っていく。

5. 閉会

次回定例会を令和8年9月28日(月)に開催することを決定し、午後5時20分に閉会した。